初冬の金砂湖・嶺南地方

ロータリー:変化をもたらす

事務局　四国中央市金生町下分865　　四国中央商工会議所内
http://www.iyomishima-rc.jp　　TEL(0896)58-3530
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp　　FAX(0896)58-6294
例　会　金曜日　12:10～13:10
■会長／桂　高司　■幹事／佐藤慎輔　■広報委員長／石川　勉

Rotary : Making a Difference
2017-18年度国際ロータリー会長

No.３１
平成30.2.2
第３０７６回

卓　　話（内部）
「希少糖とハイボール」

植　村　幸　浩

昨年５月にご縁あって当伊予三島ロータリークラブに入会させていただきましたが、良く考えてみると、皆様愛媛県ご出身の方ばかりで、県外出身者はほとんどいらっしゃらないように思います。そこで本日は私の地元香川県を発祥とする「希少糖」についてご紹介させていただきます。希少糖の研究は、平成３年に香川大学農学部に在籍していた岡山県出身の微生物学者何森教授が、香川大学農学部の食堂裏の土壌から果糖を希少糖に変換させる酵素を持つ微生物を発見したことに始まります。何森氏は変換酵素を探すため実に5,000ヶ所以上の土を採取したり、瀬戸内海の海水までも採集したそうです。では希少糖は香川県の特産品と言えるのか？という疑問がわいてきます。香川県と砂糖のゆかりは江戸時代にさかのぼります。徳川吉宗が享保の改革で全国にサトウキビの栽培を奨励したところ、高松藩が特産物創生と財源確保を目的としてこれに呼応し、1700年代末には精糖方法を確立しています。現在、希少糖は一般的な液糖（シロップ）を特別な条件下で加熱する方法を使って、香川県宇多津町にある松谷化学工業の工場で製造されています。国内で使用されている「希少糖含有シロップ」はすべて香川県のこの工場で生産されていますので、「香川県の特産品」と申し上げて良いのではないかと思います。過去に「塩」の産地であった宇多津町が現在では「糖」の産地に生まれ変わったということは、非常に興味深いことだと感じます。香川県ではこの「希少糖」を使って人口減少、経済規模縮小、他県との差別化といった課題を背景に、香川県産業成長戦略の一環として希少糖ビジネスを実践するプロジェクトを立ち上げました。そこで土俵にあがったのが「ハイボール」です。

なぜ「ハイボールなのか？」ということになりますが、香川県は「讃岐うどん」で有名です。美味しい讃岐うどんは郷土の誇りですが、ほとんどは「日中」に食べることになります。県外からのお客様に夜の街でも何か香川県特有のものでおもてなしができないか？香川初の夢の糖「希少糖」が入ったアルコールで県外からのお客様をおもてなししたい。そいう観点から有志により発案されたのが「希少糖ハイボール」なのです。希少糖は薬ではありませんので過度な期待は厳禁ですが、「希少糖含有シロップ」を１日40グラム３ヶ月毎日摂取することで、体重・体脂肪の低減が確認されています。他にも食後血糖値の上昇を抑えたり、動脈硬化の抑制、虫歯になりにくいなどの強みもあります。一般的な「希少糖ハイボール」には一杯で５グラムから10グラム含まれていますので、１日４杯程度毎日飲めばこれだけで必要量を摂取できます。ただしアルコール中毒、依存症にはくれぐれもお気をつけください。香川県では平成28年10月に希少糖PR、飲食店の収益向上を目的に「希少糖ハイボール普及委員会」が設立されました。委員長）である香川県知事浜田恵造氏を筆頭に様々なシーンで「希少糖ハイボール」の普及を行っています。昨年には「いい糖の日」ということで11月10日が「希少糖の日」に制定されました。当日は高松市内の商店街にて「希少糖ハイボールバー」が開設されるなど賑わいを見せたそうです。価格も高く認知度向上にはまだまだ課題のある「希少糖」ですが、香川県発の「夢の糖」として私も微力ではありますが、普及に努めて参りたいと思います。

第３０７６回　　例　　会　　記　　録　　平成３０年２月２日

開会　桂　高司　会長

出席報告
出席会員（３８名中）　２７名
出席率　７７．１４％
第３０７４回修正出席率　９１．４３％

会長の時間
〇誕生日御祝
石川　勉君（　１日）、新田敏晴君（　２日）
大西克弘君（　４日）、秋山雅彦君（１１日）
仁野　緑様（　１日）、山内結子様（１３日）
合田里美様（１８日）、青木楊莉様（２２日）

幹事報告

例会行事
卓話(内部)
植村幸浩　会員

ニコニコ紹介
秋山雅彦君～２月の定例異動でも該当せず、またしばらく伊予三島ロータリークラブでお世話になれます。
誕生祝～石川　勉君、新田敏晴君、大西克弘君、秋山雅彦君、仁野　緑　君、山内結子様、青木楊莉様

２月１６日プログラム予定
会長の時間
（ロータリー創立記念日に因んで）

ロータリーの目的
ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある：
第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
第４　奉仕の理念で結ばれた、職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。